

和歌山県名匠

は せ が わ と き か ず 長谷川 時 和

■ 経歴及び業績

大正13年に海南市で生まれる。14歳で大阪市の辻定木工所に家具工として入り、約10年間家具製作技術を習う。その後、郷里海南に帰り、長谷川木工所を開業し、今日まで58年余、技能の研鑽に励み、卓越した技能を身につけ、木製家具の製造に努めている。

氏が製作する木製家具は、すべて注文によるもので、受注後は、自ら企画し、デザイン、製造までを長年の経験と昔ながらの伝統的な手づくりの技法で製作に当たってこられ、代表的な作品としては、昭和37年、天皇皇后両陛下の行幸啓に際し、お使いになられた机、椅子を始め、和歌山県議会本会議場や海南市議会本会議場といった厳粛で気品が求められる特殊家具の製作などが挙げられる。

近年、家具製作技術の高度化が要求されるなか、氏は、本来の研究熱心さと創意工夫により、輸入家具の国産化などの工作法と作業の合理化に努力し、県内外から高く評価されている。

昭和41年に和歌山県洋家具商工業協同組合理事に就任以来、同副理事長として、業界の発展と後進の指導に寄与し、多大な功績を残しており、昭和56年に和歌山県技能賞を受けるほか、平成3年には労働大臣表彰を受賞している。



職 種 木製家具製造